



Kansai Vision
2030

関西DX支援機関ネットワーク（仮）の トライアル開始について



公益社団法人
関西経済連合会

関西経済連合会は、主に中堅・中小企業のDX支援を目的に、関西の**支援機関同士のネットワーク構築を目指します**。今回、**大阪商工会議所、中小企業基盤整備機構**等と共に本ネットワークの**トライアルを開始します**。（詳細は次頁以降参照）

【トライアル概要】

参画者 : 関西経済連合会、大阪商工会議所、中小企業基盤整備機構 等

開始日 : 2025年6月3日より

お問い合わせ先 : 関西経済連合会 DX委員会 事務局 : kankeiren-dx@kankeiren.or.jp

連携する支援内容 : 以下のとおり

所管	支援事業・サービス
大阪商工会議所	IT・ビジネスアプリの導入サポート、データセンターサービス、IT支援事業者の提供 等
中小機構	経験豊富なITの専門家にオンラインで相談できるサービス 等
関西経済連合会	経営者同士のDX推進に関するディスカッションの場づくり (DX-Dojo) 先進的な取り組みの表彰制度 (KANSAI DX AWARD) 等

<中堅・中小企業の皆さま>

自社のDX推進について相談したい案件がありましたら上記お問い合わせ先にお気軽にご連絡いただければ幸いです。

<大企業の皆さま>

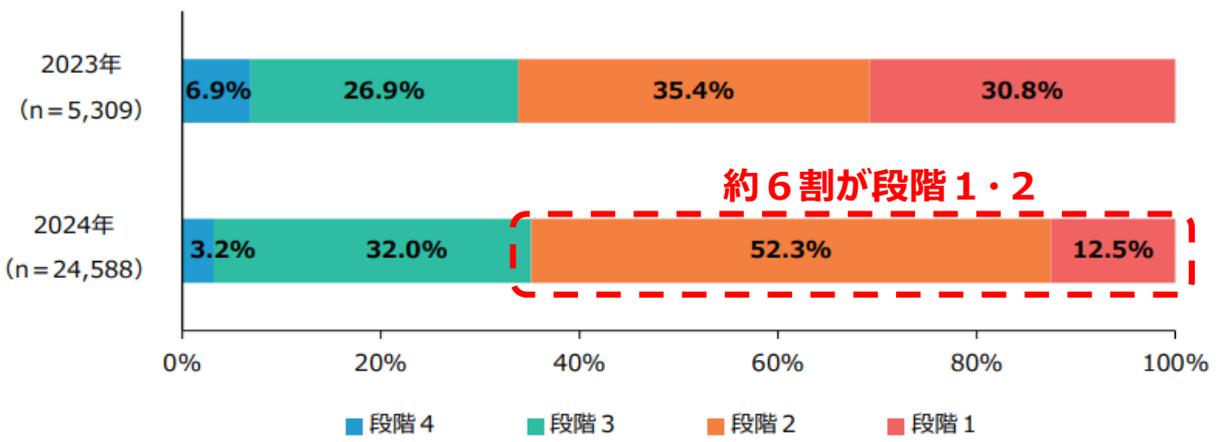
サプライチェーンの中堅・中小企業さまに本ネットワークをご周知いただけますと幸いです。

● 中小企業におけるDXの取り組みは徐々に進んでいるものの、依然として約6割の会社は、デジタル化の段階1・2（デジタイゼーション）に留まっている状況。

<デジタル化の取り組み段階>

段階4	デジタル化によるビジネスモデルの変革や競争力強化に取り組んでいる状態 (例) システム上で蓄積したデータを活用して販路拡大、新商品開発を実践している	デジタルトランスフォーメーション
段階3	デジタル化による業務効率化やデータ分析に取り組んでいる状態 (例) 売上・顧客情報や在庫情報などをシステムで管理しながら、業務フローの見直しを行っている	デジタルライゼーション
段階2	アナログな状況からデジタルツールを利用した業務環境に移行している状態 (例) 電子メールの利用や会計業務における電子処理など、業務でデジタルツールを利用している	デジタイゼーション
段階1	紙や口頭による業務が中心で、デジタル化が図られていない状態	デジタイゼーション

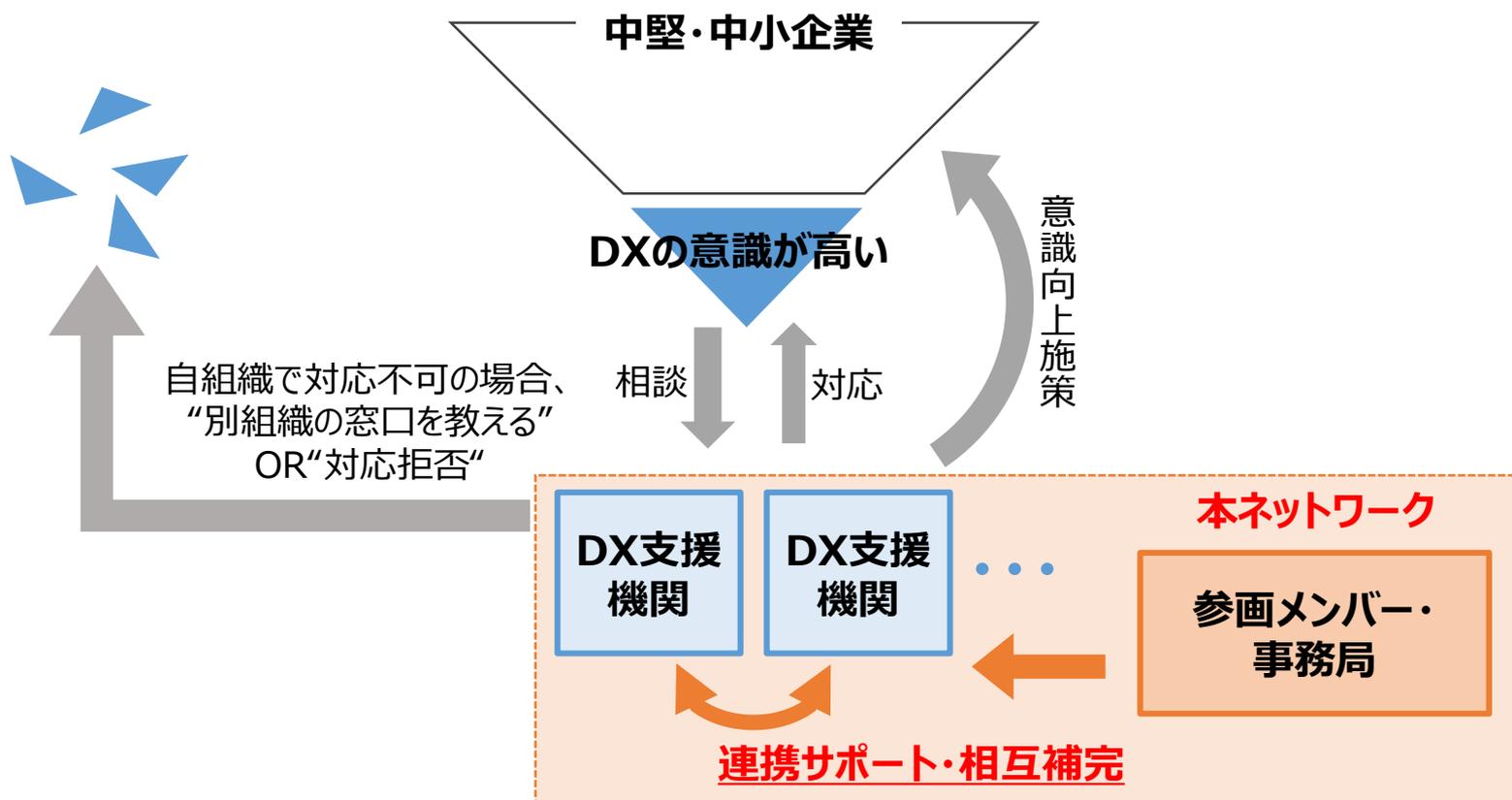
<DXの取り組み状況>



資料：中小企業庁「2025年度版中小企業白書」

本ネットワークの所掌イメージ

- 既に公的支援機関・金融機関等が中堅・中小企業のDX・IT化のサポートを展開しているものの、**DX支援機関同士の横連携や相互のリソース活用**の促進については、ニーズと一定の効果があるものと認識。
- 既存の支援機関の取り組み・座組を尊重しながら、**支援機関同士の連携をサポート・相互補完**するための各機関担当者同士のネットワークを構築するもの。



本ネットワークの全体イメージ

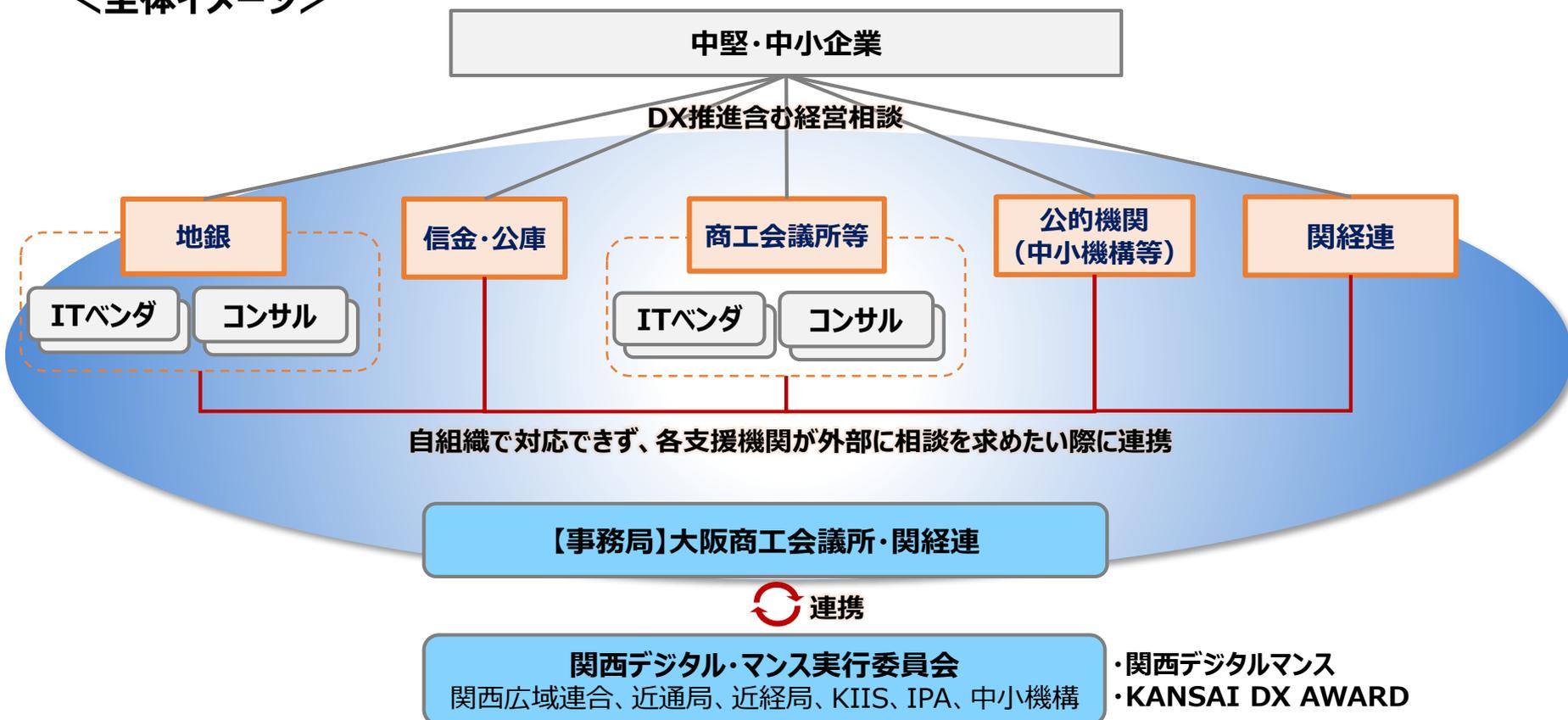
目的

主に関西圏の中堅・中小企業のDX推進のために、**DX支援機関同士のネットワークを築くことでDX支援機関のサポート・補完**をする。

主な連携内容

- ・他支援機関の紹介
- ・DX推進の表彰
- ・情報共有の場づくり
- ・相談案件のトスアップ
- ・周知協力

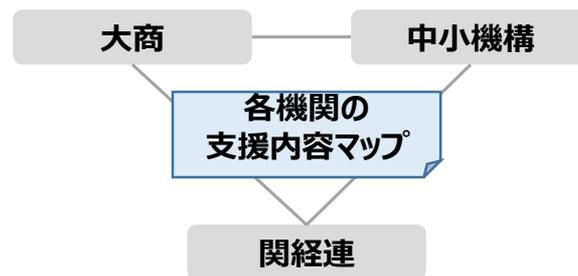
<全体イメージ>



- まずは、**大阪商工会議所・中小企業基盤整備機構・関経連等**で、6月3日より本取り組みの**トライアルをスタート**する。（下記ステップ①）
- 各支援機関の支援内容を整理した**“支援内容マップ”**に沿って**外部に相談したい案件を連携**する。

	参画メンバー
ステップ①：2025年度上期	大阪商工会議所・中小機構 ・関経連等
ステップ②：2025年度第4Q	① + 公的支援機関 + 金融機関
ステップ③：2026年度以降	② + 民間企業へ拡大

<ステップ①の案件連携イメージ>



<連携する支援内容（抜粋）>

所管	支援事業・サービス
大阪商工会議所	IT・ビジネスアプリ導入サポート、データセンターサービス、提携先のIT支援事業者の提供 等
中小機構	経験豊富なITの専門家にオンラインで相談できるサービス 等
関西経済連合会	関西デジタル・マンス、KANSAI DX AWARD、DX-Dojo 等